



【コロナウイルス感染防止対策－注意事項】

1 入退場の経路、時間、順序、方法

- 1.1 選手・スタッフ、オフィシャル（当番）、チーム関係者は、スタッフの指示に従い、**夜間通用口から練習開始 30 分前より入場する（北口・南口からの入場は禁止）。**
①ビジター→②ホーム→③オフィシャル（当番）→④チーム関係者の順に入場する。
- 1.2 選手とスタッフは一緒に入場する。オフィシャル（当番）は一緒に入場する。
関係者（保護者等、来場者リスト要記載）は一緒に入場する。**個別入場は不可。**
（中学生以下の家族は、選手・スタッフと一緒にの入場を認める。来場者リスト要記載）
- 1.3 チーム責任者が先頭で入場し、受付でリスト（オールメンバー表 1 部／オフィシャル担当表 1 部／来場者リスト 1 部）を提出する。
いずれのリストにも記載されていない人員は、入場不可。
- 1.4 スタッフの指示に従い、距離をとって入場し、検温を受け、手指消毒を行う。
（検温により発熱があった際は、当該者は外で待機、責任者立ち合いで再検温し発熱があれば入場不可。）
- 1.5 チームは指定の場所でウォームアップを終えてから入場する。
北口線路横（屋外）を両チームで分割して使用する。雨天（悪天候）時は、リンク内でのウォームアップのため、選手・スタッフの入場を 45 分前から可能とする。
- 1.6 **途中退場・再入場は不可とする。**
- 1.7 **試合終了後、30 分以内に全員退場する。退場は「北口」からとする。**
夜間通用口からの退場は禁止=次のリンク使用者の入口になるため。

2 感染予防対策

- 2.1 **屋外を含むリンク敷地内では、全員、常時不織布マスクを着用する。**
ただし、選手については、氷上・ベンチ内のみ、マスク未着用を認める。
リンク敷地内の屋外でのウォームアップ時、雨天時のリンク内ウォームアップ時はマスク着用。
- 2.2 **不織布マスクを着用する。ウレタンマスク・布マスクは不可。**
（ただし、不織布マスクと二重に着用の場合は可）。
- 2.3 手洗い、手指消毒、密を回避し対人距離を保つ等、基本的な感染予防策をとる。

3 使用指定エリア

- 3.1 着替えエリア（リンクサイド）については、当日、リンク入場時に指定する。



3.2 トイレ

1. ホームは、リンク階（ザンボ口奥）のトイレを使用する（レフェリーも使用）。
 2. ビジターは、観客席階の北東（ビジターベンチ側の奥）のトイレを使用する。
 3. オフィシャルは、観客席階の南東（本部席側の奥）のトイレを使用する。
- ※導線を分ける。スケートで移動可能なゴムシートが敷いてある場所を指定。

4 飲食

- 4.1 **リンク内での飲食禁止。**選手のドリンク・ゼリーなどは可。

5 ゴミ

- 5.1 **チームでゴミ袋を用意し、ゴミはすべて持ち帰る。**
特に試合後、ドリンク飲み残し、使用済みのティッシュ、テープ等を放置しない（ベンチおよび着替えエリア）。チーム責任者は、最後に必ず確認すること。
施設内のゴミ箱やリサイクルボックスが使用できる場合は、正しく分別して入れる。

6 駐車券

- 6.1 駐車券は、入場時に受付で割引認証機の処理を受ける。チーム関係者にも周知し、個別に依頼してリンクに迷惑をかけること。

7 チーム関係者の来場

- 7.1 **同意書、注意事項、リンクや連盟からの指示を遵守する場合のみ、チーム関係者（保護者・学校関係者等）の来場（観戦）を許可する。チームは責任を持って周知徹底すること。**
- 7.2 人数は、1試合につき、1チーム最大30名までとする。
- 7.3 来場者リストに記入し、チーム責任者が入場時に提出する。
来場者リストに記載がない人員は、入場不可。
- 7.4 関係者は、**不織布マスク着用、消毒・検温**を行う。
- 7.5 関係者はチーム毎と一緒に、オフィシャル（当番）入場後に入場する。個別入場は不可。受付でチーム名を伝える。**途中退場・再入場は不可。**
- 7.6 **観戦するサイド（北側・南側）は、当日指定する。**固定観客席（赤いイス）にて観戦する。密にならないように座る（前後左右、間をあける）。
指定エリア以外の座席を使用しないこと。
- 7.7 **飲食禁止。**
- 7.8 **ゴミはすべて持ち帰り、放置しない。**施設内のゴミ箱やリサイクルボックスが使用できる場合は、正しく分別して入れる。

8 消毒作業について

- 8.1 試合終了後、各チームのスタッフがベンチ内の消毒作業を行う（連盟が準備をした消毒



公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

Tokyo Ice Hockey Federation

液による消毒)。

* 状況により変更等が発生することがあります。



【緊急対応について】

- 9 選手・監督・コーチ・スタッフ等全てのチーム関係者（以下、関係者）を対象とし、大会7日前から大会終了後7日間までにコロナ感染者および濃厚接触者が発生した場合の対応、連絡事項などを定める。

9.1 ケース1：感染が疑われる状況となった場合や濃厚接触者となった場合

（同居家族の感染が判明した、保健所から濃厚接触者に指定された場合など）

● 該当者

該当者は保健所に連絡、指示に従い、自宅隔離もしくは医療機関を受診する。必要と判断された場合、PCR検査を受ける。直ちにチーム責任者・チームドクター（もしくはトレーナー）等に連絡する。

● チーム責任者

この時点で当連盟の女子委員会へ状況を報告する。

9.2 ケース2：PCR検査にて陽性と判定された場合

● チーム責任者

以下の内容を女子委員会に速やかに報告する。

- a. 陽性者の情報（選手、スタッフ等）
- b. 経過および症状
 - i. 発症日とその時点の症状
 - ii. 受信医療機関名と医療機関の所見～PCR検査日・判定確定日
 - iii. 現在の隔離状況（合宿所、自宅、指定ホテル、病院など）と病状
 - iv. 感染2日前～発表日までの本人の行動履歴、感染経路等判明している事実
 - v. 周囲の関係者の状況（容態の変化の有無、濃厚接触の可能性およびその対応）
- c. チームの対応状況・対処方針
チームの活動状況（練習停止等）、今後のスケジュール、感染拡大防止の取組み等

※当連盟医科学委員会と協議の上、大会への参加可否を判断いたします。

※必要に応じ、対戦チーム、オフィシャルチームへ、感染が疑われる症例発生的事实、濃厚接触者の有無、チームの対応状況・方針等を伝える場合があります。